

阪神電車防災通信 No.4

～ 自然災害に強い沿線づくりを目指して～



帰宅困難者対策
「図上訓練」に
参加しました。

12月2日（火）阪神電気鉄道株式会社 大阪梅田駅と尼崎駅が、大阪市各駅周辺地区帰宅困難者対策協議会による「帰宅困難者対策 図上訓練」に参加しました。

上町断層帯を震源とするM7.8の地震が発生し、大阪市内で震度6強～7の激しい揺れがあったとの想定の下、指定地方公共機関である鉄道会社として「自助」、「共助」の観点より、「お客さま・社員を守るとともに、帰宅困難者を解消できるよう早期の運転再開に尽力する」を訓練を通じて学びました。

阪神電気鉄道は、1995年の阪神・淡路大震災で被災した企業として、「自然災害に強い沿線づくり」を目指し、これからも沿線の皆様とともに取り組みを推進してまいります。

令和7年度 帰宅困難者対策 図上訓練

※「帰宅困難者支援施設運営ゲームKUGI（企業内用版）Ver.3.0.1 新型コロナウイルス感染症（内閣府）」および「KUGI（企業内用版）Ver.2.0（京浜東北線 東横線 山手線 SOMPOリスナレッジネット株式会社）」に基づき、作成者の許可を得て、改題したものです。抜粋のヒートマップなど専門家の見解に基づく内容は基本的にそのままだと見做し、引用を明記しています。

本日のプログラム

- あいさつ
- 訓練（ゲーム）スタート
はじめに
自己紹介（グループ内）
ワーク① 災害時の事業所内の体制の検討
ワーク② 施設内の配置（レイアウト）の確認
ワーク③ 従業員の待機方針の確認
ワーク④ 想定される様々な課題の検討
まとめ 気づいたことや検討したこと等の整理
- 全体発表・まとめ
- 関西広域連合が取り組む帰宅困難者対策について

阪神電車 安全報告書



こちらからご覧ください。👉

